

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



北区

今も昔も人々が憩い楽しむ 「飛鳥山公園」

江戸時代に行楽地として整備され、1873年に日本で最初の公園の一つに指定された「飛鳥山公園」。桜の名所として知られる同園は、3つの博物館や遊具、飲食店などを備える「北区の顔」として親しまれています。

江戸時代から続く行楽と憩いの場

日本最初の公園の一つである飛鳥山公園は、2023年に開園150周年を迎えました。江戸時代中期に、八代将軍徳川吉宗が整備を行い、桜を植えて行楽の地として江戸庶民に開放したのがこの公園の始まりです。以後、時代により姿を変えつつ、今も人々の憩いの場となっている同園は、「北区の顔となる公園」として区の観光スポットのひとつにもなっています。古くから桜の名所として知られている飛鳥山公園には、ソメイヨシノを中心とした約600本のサクラのほか、約1,300株のアジサイや約15,000株のツツジなどの花々が咲き誇り、四季折々の楽しみ方ができます。

新一万円札の渋沢栄一が愛した地

園内にはまた、北区のことがなんでもわかる「北区飛鳥山博物館」、世界有数の紙専門博物館「紙の博物館」、近代日本を創った渋沢栄一について学ぶことのできる「渋沢史料館」の3つの博物館があります。飛鳥山公園は、実業家渋沢栄一が晩年を過ごした場所としても知られています。渋沢翁が新一万円札の肖像になり、その遺構として残る旧渋沢庭園内には、国の重要文化財である「晩香廬(ばんこうろ)」や「青淵文庫(せいえんぶんこ)」もあり、区内外から多くの人々が見学に訪れています。

老若男女が楽しめる施設が揃う

公園入り口から園内までの高低差を気にせず、高齢者や障害者、ベビーカー利用者でも気軽に登れる自走式モノレール方式の斜行昇降施設「あすかパークレール」のほかに、「児童遊園」、「水遊びエリア」、「展望広場」などがあり、子どもから高齢者まで楽しむことができます。2022年からは、公民連携して魅力あふれる公園を創る取り組みを始めており、2023年にPark-PFI制度を活用した飲食施設「shibusawa hat れすとらん館」が開業しました。飛鳥山公園は、公園から区内外の人々に北区の魅力を広く発信し街の回遊を促し、賑わいや経済効果を創出することを目指しています。



▲「アスカルゴ」の愛称で親しまれる「あすかパークレール」



▲近代日本を創った渋沢栄一の関連史料を展示する「渋沢史料館」



▲北区の自然・歴史・文化を紹介する「北区飛鳥山博物館」



▲紙の歴史・文化・産業を紹介する「紙の博物館」



▲渋沢栄一が亡くなるまで過ごした旧渋沢庭園にある「青淵文庫」



▲shibusawa hat れすとらん館

飛鳥山公園では、さまざまなイベントを開催しています。

- 第41回ふるさと北区 区民まつり
開催日時: 10月5日(土)・6日(日) 11:00 ~ 16:00
(10月5日は 17:00 ~ 19:00の夜の部もあり)
- 第3回飛鳥山Hawaii Festival
開催日時: 10月19日(土)・20日(日)
- 星空シアター
開催日時: 11月2日(土) 11:00 ~ 20:00

飛鳥山公園

所在地 北区王子1-1-3
開館時間 終日開放(一部閉鎖区域あり)
旧渋沢庭園は9:00 ~ 16:30
(12/1から2月末は ~ 16:00) 飛鳥山3つの博物館は、
<https://www.asukayama.jp/>参照
休園日 なし 飛鳥山3つの博物館は、
<https://www.asukayama.jp/>参照
入館料 無料 飛鳥山3つの博物館は、
<https://www.asukayama.jp/guide.html>参照
アクセス JR京東北線王子駅より徒歩すぐ
お問合わせ 03-5980-9210

